



2026年8月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）



2026年4月9日

上場会社名 日本BS放送株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9414 URL https://www.bs11.jp  
 代表者（役職名）代表取締役社長 社長執行役員（氏名）玉井 忠幸  
 問合せ先責任者（役職名）取締役 執行役員（氏名）松友 大輔（TEL）03（3518）1900  
 半期報告書提出予定日 2026年4月10日 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有（証券アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

## 1. 2026年8月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年9月1日～2026年2月28日）

## （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期中間期	5,834	△0.9	849	△26.7	876	△25.3	596	△25.7
2025年8月期中間期	5,889	△0.8	1,159	25.0	1,174	26.2	801	24.9

（注）包括利益 2026年8月期中間期 596百万円（△25.7%） 2025年8月期中間期 801百万円（24.9%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年8月期中間期	33.44	33.39
2025年8月期中間期	45.00	44.93

## （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年8月期中間期	26,543	24,487	92.2
2025年8月期	26,898	24,426	90.7

（参考）自己資本 2026年8月期中間期 24,469百万円 2025年8月期 24,392百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年8月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2026年8月期	—	0.00			
2026年8月期（予想）			—	30.00	30.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年8月期の連結業績予想（2025年9月1日～2026年8月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,576	6.5	1,804	△6.6	1,888	△4.9	1,306	△2.9	73.30

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年8月期中間期	17,834,232株	2025年8月期	17,816,932株
2026年8月期中間期	238株	2025年8月期	237株
2026年8月期中間期	17,826,348株	2025年8月期中間期	17,816,695株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	5
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(中間連結キャッシュ・フロー計算書関係) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果もあり、緩やかに景気回復しております。先行きについては、円安による物価上昇を背景とした個人消費の伸び悩みや米国の通商政策、金融資本市場の変動、地政学リスクの長期化等の影響による景気の下振れリスク等に引き続き、十分注視する必要があります。

当社を取り巻くBSデジタル放送業界は、動画配信サービス市場の拡大等で、ビジネスの機会が拡大する等、環境が大きく変化している中、テレビメディア広告費は、1兆7,556億円(前年比99.7%)となり、そのうち当社を含む衛星放送メディア関連の広告費は、1,223億円(前年比97.5%)となっております。また、無料見逃し配信動画サービス等のテレビメディアデジタル広告費は、805億円(前年比123.3%)と大きく伸びており、放送のみならず、ビジネス機会を積極的に拡大していくことの重要性が高まっています。(「2025年 日本の広告費」(株)電通調べ)

このような状況下、当社は「質の高い情報を提供することで人々に感動を与え、幸せな社会づくりに貢献します」を経営理念として中長期的な成長を実現するため、重点施策「Value(バリュー)4」を掲げ、「放送事業収入の最大化」「独自IPコンテンツの開発加速」「アニメビジネスの収益基盤拡充」「企業価値向上のための戦略的投資」をテーマに、放送事業に加え、配信事業やアニメ事業をはじめとした、その他の様々な施策に取り組みました。

#### 【放送事業収入】

当中間連結会計期間の放送事業収入は、4,942,885千円(前年同期比3.5%減少)となりました。

タイム収入は、競馬中継等の公営競技のセールスが引き続き好調だった一方、ショッピングカテゴリーの売上が伸び悩んだことで、前年同期比減収となりました。スポット収入は、通販スポットの減収により前年同期比減収となりましたが、純広告のセールスは引き続き増加基調を維持しております。

重点施策「Value4」における「放送事業収入の最大化」「独自IPコンテンツの開発加速」の下、コンテンツを中心とした投資を強化しており、『鶴瓶のええ歌やなぁ』『黒谷友香、お庭づくります』を軸に、『偉人・敗北からの教訓』や『太田和彦のふらり旅 新・居酒屋百選』等、歌謡、園芸、歴史や紀行等、BS視聴者層に人気のジャンルを中心に、テーマやゲストの充実、時間帯ごとの視聴率推移の分析等を徹底しております。更に、年末年始には、新規視聴者の獲得を促進するべく、特別拡大版の放送にも取り組みました。また、コラボレーション施策も積極的に推進しており、『京都紅葉生中継2025 心とレンズに刻む絶景』や『冬の京都2026～財前直見が行く食と歴史の都～』等の紀行番組を(株)京都放送と共同で制作、放送いたしました。

このほか、「ANIME+」枠では、『Fate/strange Fake』『エリスの聖杯』等、製作委員会参画作品を含むアニメ関連番組を毎クール約40タイトル放送。日中帯を中心とするドラマ枠では、『大宋宮詞～愛と策謀の宮廷絵巻～』『福寿草』『必殺仕事人V・激闘編』等、中国時代劇や韓国ドラマ、国内時代劇を中心としたBS視聴者層に人気のドラマコンテンツを多数放送しております。

#### 【その他事業収入】

その他事業収入は、891,547千円(前年同期比15.9%増加)となりました。アニメ制作委員会からの出資配当収入が好調となったほか、オリジナル配信プラットフォーム「BS11+」、TVerやBS11公式YouTubeチャンネル等の配信事業収入が引き続き堅調に推移いたしました。2月には、(株)国土社刊行の児童書『雨上がりのスカイツリー』のドラマ化が実現し、配信プラットフォームでの先行配信を皮切りに、イベントや放送等、IPの価値向上を目指し、多面的な展開を進めております。このほか、「太田和彦のふらり旅 新・居酒屋百選 presents 新春トークライブ 太田和彦×門司健次郎『世界に誇る日本酒と、酒場の魅力再発見』」や、「BS11+」で配信中のオリジナルコンテンツ『石見舞葉香・長谷川育美のふたりば』の第2回イベントを実施する等、レギュラー番組から配信オリジナルコンテンツまで、IPの価値向上に向けて、コンテンツファンの形成・拡大につながるイベント等の施策も幅広く積極的に展開しております。

## [費用]

今期は、放送事業収入の最大化及びその他事業収入の収益拡大に向けて、コンテンツを軸とした積極的な投資を推進しており、既存番組の内容強化や新規IPの開発、良質なアニメ作品の確保等に取り組んでおります。また、これらの投資の効果を最大化すべく、新聞広告やWEB広告を中心に宣伝活動にも注力しております。こうした取り組みにより、コンテンツ投資にかかる番組制作費や広告宣伝費が増加したことで、費用は4,985,079千円(前年同期比5.4%増加)となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は5,834,432千円(前年同期比0.9%減少)となりました。営業利益は849,352千円(前年同期比26.7%減少)、経常利益は876,718千円(前年同期比25.3%減少)、親会社株主に帰属する中間純利益は596,096千円(前年同期比25.7%減少)となりました。

## (2) 当中間期の財政状態の概況

### ①資産・負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ355,071千円減少し、26,543,285千円(前連結会計年度末比1.3%減少)となりました。主な要因は、現金及び預金が69,145千円増加したものの、売掛金が175,858千円、有価証券が99,922千円とそれぞれ減少したことに加え、固定資産の減価償却が進み、有形固定資産が156,430千円減少したこと等によるものであります。

当中間連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ416,688千円減少し、2,055,482千円(前連結会計年度末比16.9%減少)となりました。主な要因は、買掛金が101,192千円、未払法人税等が51,919千円、流動負債のその他に含めて表示している未払金が88,576千円、未払費用が79,900千円、未払消費税等が72,607千円とそれぞれ減少したこと等によるものであります。

当中間連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ61,617千円増加し、24,487,802千円(前連結会計年度末比0.3%増加)となりました。主な要因は、利益剰余金が、前連結会計年度の期末配当534,500千円により減少したものの、親会社株主に帰属する中間純利益596,096千円の計上に伴い61,595千円増加したこと等によるものであります。

### ②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は4,057,923千円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、527,057千円(前年同期は993,647千円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益876,718千円の計上及び法人税等の支払額349,456千円等によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は、1,057,049千円(前年同期は2,006,146千円の使用)となりました。これは主に定期預金の払戻による収入1,000,000千円等によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、514,961千円(前年同期は535,006千円の使用)となりました。これは主に、配当金の支払額534,182千円等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年8月期の連結業績予想につきましては、2025年10月9日付の「2025年8月期 決算短信」で公表しました連結業績予想から変更ありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (2026年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,988,777	14,057,923
売掛金	2,189,774	2,013,915
有価証券	299,918	199,996
棚卸資産	616,404	621,327
その他	128,466	106,703
流動資産合計	17,223,341	16,999,865
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,016,096	1,971,850
土地	4,034,756	4,034,756
建設仮勘定	9,130	—
その他(純額)	613,936	510,881
有形固定資産合計	6,673,919	6,517,489
無形固定資産	34,500	36,700
投資その他の資産	2,966,595	2,989,229
固定資産合計	9,675,015	9,543,419
資産合計	26,898,356	26,543,285
負債の部		
流動負債		
買掛金	923,513	822,320
短期借入金	80,000	100,000
未払法人税等	385,229	333,309
その他	954,035	669,590
流動負債合計	2,342,777	1,925,220
固定負債		
退職給付に係る負債	109,772	113,336
その他	19,620	16,925
固定負債合計	129,392	130,261
負債合計	2,472,170	2,055,482
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,190,714	4,198,322
資本剰余金	3,524,504	3,532,112
利益剰余金	16,676,803	16,738,398
自己株式	△234	△235
株主資本合計	24,391,787	24,468,597
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	543	548
その他の包括利益累計額合計	543	548
新株予約権	33,855	18,657
純資産合計	24,426,185	24,487,802
負債純資産合計	26,898,356	26,543,285

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)
売上高	5,889,789	5,834,432
売上原価	2,942,201	3,169,059
売上総利益	2,947,587	2,665,372
販売費及び一般管理費	1,788,374	1,816,019
営業利益	1,159,213	849,352
営業外収益		
受取利息及び配当金	10,231	20,315
受取派遣料	3,600	3,600
その他	1,425	4,361
営業外収益合計	15,256	28,276
営業外費用		
支払利息	159	832
その他	—	77
営業外費用合計	159	909
経常利益	1,174,311	876,718
税金等調整前中間純利益	1,174,311	876,718
法人税、住民税及び事業税	395,827	298,881
法人税等調整額	△23,261	△18,259
法人税等合計	372,565	280,622
中間純利益	801,745	596,096
非支配株主に帰属する中間純利益	—	—
親会社株主に帰属する中間純利益	801,745	596,096

## 中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)
中間純利益	801,745	596,096
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	84	5
その他の包括利益合計	84	5
中間包括利益	801,830	596,101
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	801,830	596,101
非支配株主に係る中間包括利益	—	—



## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	1,174,311	876,718
減価償却費	235,145	190,295
賞与引当金の増減額(△は減少)	18,032	7,065
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2,181	3,564
受取利息及び受取配当金	△10,231	△20,315
支払利息	159	832
売上債権の増減額(△は増加)	325,938	175,858
棚卸資産の増減額(△は増加)	△58,871	△4,922
仕入債務の増減額(△は減少)	△71,882	△101,192
未払金の増減額(△は減少)	△84,641	△80,806
未払費用の増減額(△は減少)	△31,268	△79,900
未払消費税等の増減額(△は減少)	△145,204	△72,607
その他	△20,732	△35,822
小計	1,332,934	858,769
利息及び配当金の受取額	7,463	18,578
利息の支払額	△159	△832
法人税等の支払額	△346,591	△349,456
営業活動によるキャッシュ・フロー	993,647	527,057
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,000,000	—
定期預金の払戻による収入	—	1,000,000
有形固定資産の取得による支出	△6,352	△35,999
無形固定資産の取得による支出	—	△5,062
有価証券の償還による収入	—	100,000
投資有価証券の取得による支出	△995,030	—
保険積立金の解約による収入	1,996	4,544
その他	△6,759	△6,433
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,006,146	1,057,049
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	60,000	80,000
短期借入金の返済による支出	△60,000	△60,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△795	△795
配当金の支払額	△534,211	△534,182
その他	—	16
財務活動によるキャッシュ・フロー	△535,006	△514,961
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,547,505	1,069,145
現金及び現金同等物の期首残高	6,152,467	2,988,777
現金及び現金同等物の中間期末残高	※ 4,604,961	※ 4,057,923

## (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)
現金及び預金	13,604,961千円	14,057,923千円
預入期間が3か月を超える定期預金	△9,000,000千円	△10,000,000千円
現金及び現金同等物	4,604,961千円	4,057,923千円

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

当社グループには、BSデジタル放送事業以外の重要なセグメントがないため、セグメント情報の記載を省略しております。